

平成 2 3 年 1 1 月 2 4 日

平成 2 3 年 第 1 1 回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

平成 2 3 年 第 1 1 回 東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成23年11月24日（木曜日）午後 2 時00分～午後 2 時30分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第 4 ・ 5 会議室

3. 出席委員 1 番 鈴木 敏彦（委員長）

2 番 小 泉 美佐子

3 番 土 田 豊

4 番 武 石 修一郎

5 番 小 島 昇 公（教育長）

4. 欠席委員 な し

5. 説明職員

社会教育部長	小 俣 学	学校教育部 参事兼 指導室長	今 城 徹
学校教育課長	田 代 雄 己	建築課長兼 教育施設担当 副参事	堂 垣 隆 志
給食課長	梶 川 義 夫	統括指導主事	岡 田 博 史
社会教育課長	佐 伯 芳 幸	社会教育部 副参事 (国体準備 担当)	高 橋 宏 之
中央公民館長 兼 狭 山 公 民 館 長	乙 幡 正 喜	中央図書館長	野 口 弘

6. 書 記

庶務係長	小 川 圭	主 事	谷 本 惇
------	-------	-----	-------

○議事日程

第1 会議録署名委員の指名

第2 教育長諸務報告

第3 その他報告事項 （1）東大和市教育委員会の点検・評価について
 （2）地域スポーツクラブについて

◎開会の辞

○鈴木委員長 ただいまから、平成23年第11回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○鈴木委員長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員は土田委員にお願いいたします。

◎日程第2 教育長諸務報告

○鈴木委員長 日程第2、教育長諸務報告を行います。
教育長。

○小島教育長 それでは、平成23年10月29日から平成23年11月22日までの教育長諸務報告を申し上げます。

初めに、平成23年10月29日に、第六小学校の学芸会を見学いたしました。演じている児童がとても楽しそうで、保護者の方も真剣にご覧になっておりました。

10月30日には、第42回市民体育大会、第29回の市民水泳大会開会式に出席をいたしました。小学校1年生から高齢者までたくさんの参加があり、高校生のボランティアの協力を得るなど、努力された大会でございました。なお、会場をロンドスイミングスクールの協力を得るなど、施設面での大変さを伺いました。

11月1日には、第四中学校におきまして開催されましたスタントマンによる体験型交通安全教室を見学いたしております。昨今、問題となっております自転車による事故の迫力ある実演がなされ、生徒も真剣に見入っております。交通事故の減少に寄与するものと期待いたしております。

翌11月2日には、女性教育委員研修会が東大和市で開催され、小泉委員が中心となり、8市1村12人の女性委員をもてなすとともに、東大和市のPRを行い、会議等を通じまして交流を深められました。参加者の皆様からは、大変好評を博しております。

11月3日には、市民文化祭の閉会式に出席をいたしました。音楽大学のお二人による演奏もあり、文化の薫りがするすてきな閉会式でございました。

11月4日には、教育委員懇談会に出席をいたしております。

翌5日には、第1回オータムフェスティバル開会式に出席いたしました。昨年までのサマーフェスティバルを、産業まつりと同時開催に変更し、一体感が増し、会場内も熱気に包まれておりました。

11月5日、6日には産業まつりが開催され、出席をいたしました。社会を明るくする運動では、校長先生方にもPRをしていただいたり、第三中学校の吹奏楽部の演奏もあり、大変盛り上がりのあるイベントでございました。

11月7日には、東大和市教育委員会の点検・評価に関する学識経験者説明会に出席をいたしております。後ほどその他報告事項でご説明させていただきますが、各取り組みに対し高い評価をいただいております。

11月8日には、校長会定例会に出席をいたしました。私からは、秋は行事が多く忙しい時期でございます。体に気をつけて頑張っていたきたいということをお願いいたしました。

同日、市役所の総合防災訓練に出席をいたしております。4階からの出火により、来庁者を含め、避難を実施いたしました。本番を想定した真剣な訓練でございます。

11月9日には、次世代育成支援推進本部会に出席をいたしました。東大和市次世代育成計画の平成22年度実施状況が報告をされております。

11月11日には、第一・第二・第五・第八小学校の展覧会及び第九小学校の学習発表会を見学いたしました。それぞれ力作ぞろいでした。

また、同日、第三中学校の創立40周年記念式典に出席をいたしております。大変厳かなすばらしい式典でございました。

翌12日には、第三小学校の展覧会、第十小学校の学芸会を見学いたしました。第三小学校の展覧会では、児童が案内をしてくれるといういい試みがあったというふうに感じました。

11月13日には、福祉祭に出席をいたしております。学校からも、第一・第三中学校の吹奏楽部がすてきな演奏を披露しておりました。

14日に、第七小学校を学校訪問するとともに、防災会議及びあいさつふれあい駅頭キャンペーンに参加をいたしました。

11月16日には、都市教育長会議に出席をいたしております。東京都からの連絡事項等がなされております。

翌17日には、P T A 連合協議会との懇談会に出席をいたしました。給食費の未納対策、学校の防災マニュアル等について回答を行い、懇談をいたしております。

11月19日には、第四小学校の学習発表会を見学の後、狭山公民館まつりの開会式に出席をし、その後、第六小学校の道徳授業地区公開講座を見学いたしました。第六小学校では、元プロ野球選手のギャオス内藤コーチの講演を聞かせていただきました。子供たちに対し、楽しく、あきらめないうで努力をするようにという講演の内容がございました。

11月21日には、教育委員会の学校訪問で、第一小学校を訪問いたしました。大型のテレビやプロジェクター等、I C T の活用が数教室で行われていたというのを拝見しまして、ほっとしているというところがございます。

最後に、11月22日には、第五中学校の開校30周年記念式典に出席をいたしました。非常に心配しておりましたけれども、式のほうは比較的静かであり式が行われたということだと思っております。

以上で、諸務報告を終了させていただきます。

○鈴木委員長 教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告についてご質疑等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 その他報告事項

○鈴木委員長 日程第3、その他報告事項を行います。

報告事項1、東大和市教育委員会の点検・評価について、本件の報告をお願いいたします。

学校教育課長。

○田代学校教育課長 その他報告の(1)でございます。

資料にございます平成22年度東大和市教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況点検及び評価報告書(案)につきまして、ご報告をさせていただきたいと思ひます。

この点検・評価でございますが、平成20年4月1日に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が施行されまして、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行ひまして、その結果に関する報

告書を作成し、これを市議会に提出するとともに、公表するものとされました。

このことから、平成22年度の東大和市教育委員会の基本方針に基づく主要な施策について、取り組み状況を確認し、その成果を取りまとめ、主要施策の課題や今後の方向性を示すとともに、公募を含む学識経験者からの意見をいただきまして、点検及び評価報告書（案）をまとめるものでございます。

これまでの内容につきましては、教育委員の皆様のご意見を踏まえまして、作成をさせていただいたところでございます。

その後、去る10月17日に、外部の学識経験者へ、平成22年度の点検及び評価報告書（案）につきまして説明をさせていただき、ご意見をいただきました。

その中で大きく2点、ご意見がございました。

意見につきましては、研究事業について、全校一斉に同じ取り組みをするのではなく、各校の特色に応じた内容を集中的に取り組み、それぞれの成果を各校へ反映すべきではないかという点ですね。

もう1点が、3月に東日本大震災がありまして、世間の防災に対する意識が大変高まっているということで、学校現場における今後の取り組みの方向性についても、そのような防災の意識を高めるような記載を加えたほうがいいのではないかという2点、大きくいただいたところでございます。

今回できる限りその辺を踏まえて、お手元の点検・評価報告書（案）を作成させていただきました。

具体的に申し上げますと、お手元の資料、報告書（案）の37ページをお開きいただきたいと思います。

左側の36ページの（2）学校の特色化の項目で、その後、右のページの37ページにございます今後の取組の方向性についてであります。

1点目の全校一斉に同じ取り組みをするのではなく、各校の特色に応じた取り組みをして、全体に成果を広げていくというご意見を踏まえまして、右のページの37、上のほうにあります今後の取組の方向性の①から③にありまして、2つ目の段落のところ、少し文字が太くなっておりますけれども、方向性としましては、「各校の特色に応じた施策の推進を支援するとともに、各校の取組成果を他校に波及させるための手立ての構築を図る。」と、こういう一文を加えさせていただきました。

続いて、防災の関係でございしますが、39ページをお開きいただきたいと思います。

す。

(7) 危機管理体制の充実から始まりまして、次のページの40ページになりますが、一番下の⑤になります。新たにこの⑤の項目を追加させていただきました。総合防災訓練の実施ということで、第二小学校と第一中学校におきまして、総合防災訓練をしておりますので、その実施につきまして実績という形で加えさせていただきます。

また、右のページ、41ページになりますが、上のほうにあります今後の取組の方向性の⑤になります。「第二小学校、第一中学校の教育実践を市内の全小・中学校に広げるとともに、義務教育9年間を見通した系統的防災教育計画を作成していく。」ということを新たに追加しております。

以上、大きくはこの2点につきましてご意見ありましたので、このような内容で追加をさせていただきます。

また、全体的な報告書(案)の流れでございますが、昨年度、なるべく実績につきましては数字を使うとか、経年の変化がわかるようにというご意見をいただきましたので、全体的にはそのようなことを踏まえて実績を記載させていただきます。

また、作成の時期でございますが、昨年度までは3月に完成するような形でございますけれども、やはりできるだけ早くというご意見がありましたので、今年度につきましては、この後、12月に完成するような形で事務を進めてまいりたいと考えております。また、来年度につきましても、少しずつではありますけれども、なるべく早い時期に、このような形の報告書(案)ができるように努力をしてみたいと思っております。

なお、過日、11月7日に平成22年度の点検・評価の報告書(案)につきまして、学識経験者から意見を伺う会を開催しまして、本報告書(案)の意見を追加させていただきます。

それが43ページ以降になりますけれども、第4章で点検及び評価に関する有識者からの意見という形で、3人の学識経験者の皆様からいただいたご意見につきまして、添付をさせていただきます。

後ほど内容をご覧いただきたいとは思いますが、おおむね高い評価をいただいている施策があるということで、先ほど教育長からもお話あったとおりでございます。

なお、今後の予定でございますが、最終的には12月の定例の教育委員会で付議させていただきまして、そこでご了承いただいた場合には、1月1日を目途にホームページに載せたり、議員さんに配布したりということで考えております。

なお、本報告書（案）につきまして、改めて教育委員さん、皆様からご意見がありましたら、12月9日、金曜日までに事務局へご連絡いただきますようお願い申し上げます。

私のほうからは以上でございます。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

では、ないようですから、私のほうから1点ですが、この学識経験者、43ページ、廣嶋先生の文章の一番最後、2行、「各学校のニーズを受け止め、学校の特色化と活性化を推進する観点から、大いに賛意を表したい。」と評価するご意見をいただきました。私ども、やっぱり現場尊重というか、子供中心主義というか、そういう点で評価を受けたことはとてもうれしいことで、これからもこの精神を貫いてやっていきたいと、そういうことを改めて感じました。

それから、今課長からお話があった防災教育のことについては、また来年度の教育計画、教育目標を立案するときにも反映させていけばいいんじゃないかと思います。その点で、よろしくをお願いいたします。

土田委員。

○土田委員 僕も、この有識者のご意見ですけれども、三人三様ではあるけれども、それぞれが大変高い評価をさせていただいているということで、大変よかったと思います。

以上です。一応感想を申し上げます。

○鈴木委員長 ありますか。

学校教育課長。

○田代学校教育課長 来年度の教育目標に、防災の関係を少し加えたほうがいいのではないかというご意見だと思いますけれども、現在、指導室を中心に教育目標につきまして再考しているというか、確認しているところなんです、統括のほうでもそういう防災関係の内容を盛り込むことで検討していただいておりますので、また改めて教育委員の皆様にはお示しをさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○鈴木委員長 ありがとうございます。

小泉委員。

○小泉委員 学識経験者の3人の方からは、それぞれに具体的に、例えば特別支援教育の推進について高い評価をと、か、道徳授業地区公開講座についても、とてもいい評価をいただいております、本当に日ごろの苦勞が報われるのかなという気がいたしました。

1つだけ、恐れ入ります19ページのところで、ちょっと感想というか、お尋ねしたいというか、お願いいたします。

ここでは、児童・生徒への食に関する指導として、給食の残菜率等に関してのことが載っているかと思うんです。食育を、これは生きていく上での基本的なことなんだということで、食に関する教育の充実に努めておられます学校が、残菜率がかつて二桁であったものを一桁まで落とすことができたという、そういうご報告もお聞きしております。

それで、この小学校の実績等、少し回数の数字にばらつきがあるのですが、できるだけ食べることについての意識を高めて残菜を減らすように、さらなる取り組みをやっていただきたいのと、来年もぜひ頑張ってお願ひしたいと思いますが、中学校の資料が載っていないんですが、このあたりはどうなっているんでしょうか。

○鈴木委員長 給食課長。

○梶川給食課長 点検報告書の19ページでございます。

21年度から東大和市にも栄養教諭さんが配属されまして、食に関する食育指導の機会を多々いただいているところでございます。22年度までは、まだ中学校から食育の授業に関して、栄養教諭のほうにこういった食育の関係での応援というか、指導の要請というのはまだいただいているところでございます。現在、23年度も小学校を中心に食育の指導を行っております。恐らく24年度以降、中学校のほうも増えてくるのではないかなと思っております。

ここの表に載っております各学校ごとに食育の回数のばらつきがありますのは、私どものほうで各学校から給食の全体計画をもとに要請をいただいておりますが、栄養教諭自体が一小のほうに席を置いております関係で、どうしてもやはり一小のほうが多くなっているようでございまして、残菜率もやはり一小が圧倒的に少

ないものでございます。こうしたことをほかの学校にも、今後とも拡充できるように、各学校と調整を図っていきたいと思っております。

以上でございます。

○鈴木委員長 いいですか。小泉委員。

○小泉委員 はい。ありがとうございます。また、23年度以降、中学校も十分に対応していただきたいと期待しております。

よろしく願いいたします。

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

報告事項2、地域スポーツクラブについて、本件の報告をお願いいたします。
社会教育課長。

○佐伯社会教育課長 私のほうからは、2番、地域スポーツクラブについてご説明をさせていただきます。

資料のほうは、本日お手元にお配りさせていただきました資料でございます。

地域スポーツクラブの設立の推進についてということで、平成12年9月に、文部科学省が、スポーツ振興基本計画を策定し、その中で生涯スポーツの社会の実現と、できるだけ早期に成人の定期的なスポーツの実施率を高めるという政策の目標が掲げられ、その中に総合型地域スポーツクラブは、その拠点となるべく、全国的に展開することが期待されたものであるというふうに上げられました。

この計画を受けて、東京都が平成14年7月に、東京都スポーツ振興計画を策定し、平成25年までに各市町村において、1から2の地域スポーツクラブを設立し、28年までには100以上の設立ができるよう働きかけております。

地域スポーツクラブにつきましては、2番でございますが、子供から高齢者まで、さまざまなスポーツを愛好する人々が、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できるという特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのことでございます。

これらのスポーツクラブを設立することによりまして、スポーツをする場の確保という効用だけでなく、異なる世代の人たちが一緒に、スポーツを通じて世代間交流や、指導者を通じた地域の大人たちと子供たちとを結びつけたり、地域のコミュニケーションを広げる一体感の創出など、コミュニティーの再構築には重要な手段になると考えられていると位置づけられております。

東大和市におきましては、現在までスポーツ推進委員、体育指導委員の方々が、

地域スポーツクラブの設立支援の研修会等へ参加していただきながら、私たち行政の職員も研修会へ参加し、情報の収集や知識を深めてまいりました。

そこで、東大和市に1つ目の地域スポーツクラブの設立を目指そうという機運を高め、検討会と称して話し合いを続けてまいりました。

今年度は、その設立を見据えた活動として、従前から実施しておりましたスポーツ開放事業を、第一中学校の体育館から、今年度、市民体育館が4月から、休館日が毎週火曜日であったものが、月1回、第3火曜日となった機会を得て、第2・第4火曜日の夜の7時から9時半までの時間を、第一体育室のA面をお借りしまして、活動の場所を変更しました。この活動では、主にソフトバレーボールやビーチボールバレー、最近ではキンボールというようなニュースポーツの競技を取り入れて、市民への周知を図っているところでございます。

指定管理者が平成22年に4月1日から導入されまして、現在、シンコースポーツ・フクシエンタープライズ共同事業体が体育施設等の運営を行っております。こちらの指定管理者におきましても、地域スポーツクラブについての運営に支援を、約束をいただいているところでございます。引き続き第2・第4火曜日の夜間でございますが、場所の確保を努めて協力をいただいているところでございます。

東京都の地域のスポーツクラブの設立状況でございますが、これは10月20日現在でございます。都内39地区91クラブが設立されております。なお、多摩地区におきましては26市中16市38クラブが設立されております。近隣では、武蔵村山市、立川市においても、現在設立の予定であるというふうに伺っております。

それらの設立に向けた検討状況につきましては、現在、先ほど申しましたスポーツ推進協議会と事務局の間で検討を進めているところでございます。

今年は東京都から派遣されました体育協会のクラブ育成アドバイザー等の意見を伺いながら、東大和市で現在やっているスポーツ開放を発展させて、地域スポーツクラブにしたいというふうに考えながら進めております。

現在、地域住民も参加した設立準備委員会の立ち上げに向けて準備をしていきたいというふうに考えておりまして、地域住民の認知を高めるために、クラブの趣旨の賛同を得られる方を確保するために、初めての試みとして、12月18日の日曜日でございますが、地域スポーツクラブについての学識経験者による講義とスポーツ体験会を企画しているところでございます。

その開催の案内につきましては、仮称ですが、「地域スポーツクラブをつくろう！！」という、「まつり」という題を打ちまして開催をいたしまして、1つでは講義、1つではスポーツ体験ということを、時間を分けて準備しているところでございます。

なお、当日の講義につきましては、この地域スポーツクラブについて先進的にご指導いただいております大学の教授をお呼びいたしまして、対応していきたいというふうに考えております。その通知と、PRの文章を後日、配布していきたいというふうに思っております。

なお、一番最後のページになりますが、地域スポーツクラブの設立検討会における進捗状況ということで、これまでの経過のほうを記録をさせていただいているところでございます。

説明につきましては以上でございます。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

土田委員。

○土田委員 スポーツ推進委員というのは何名ですか。

○鈴木委員長 社会教育課長。

○佐伯社会教育課長 定員は15名でございますが、現在1名欠員でございますので、現在14名で対応しております。

以上です。

○土田委員 はい。

○鈴木委員長 ほかにありませんか。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

これで、その他報告事項を終了いたします。

◎閉会の辞

○鈴木委員長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程はすべて終了いたしました。

これをもって、平成23年第11回東大和市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後 2時30分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育局委員会委員長 鈴木 敏彦

会 議 録 署 名 委 員 土田 豊